

# インテリジェントビューア AR100 取扱説明書

# もくじ

もくじ	1
はじめに	2
安心してお使いいただくために	4
1 各部の名前	13
① 前面図／側面図	13
② 裏面図	14
2 フレームに取り付ける	15
① 本体をフレームに取り付ける	15
3 dynaEdgeを接続する	17
① 本体とdynaEdgeを接続する	17
4 位置と角度を調整する	19
5 Q&A集	21
6 デイリーケア	22
7 製品仕様	23
8 センサーについて	24
9 技術基準適合について	25

# はじめに

このたびはインテリジェントビューア AR100（以下、「AR100」と記載します）をお買い求めいただき、ありがとうございます。

本製品にモバイルエッジコンピューティングデバイス dynaEdge DE100/DE200（以下、「dynaEdge」と記載します）を接続すると、dynaEdgeに搭載されているシステムやアプリケーションがディスプレイに表示されます。タッチパッドやボタンでアプリケーションを操作したり、カメラで写真や動画を撮ったりすることもできます。

お買い求めいただいた製品（本製品）のご使用前に、必ず各種説明書をお読みください。また、各種説明書の記載内容を守って使用してください。







お子様がお使いになるときは、保護者のかたが各種説明書の内容をお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。

本製品を安全にお使いいただくために重要な事項は、「安心してお使いいただくために」に記載されています。

本書は、必要なときにすぐに参照できるように、お手元に置いてご使用ください。

本書は、次の決まりに従って書かれています。

## 記号の意味

 <b>危険</b>	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことがあり、その切迫の度合いが高いこと”を示します。
 <b>警告</b>	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことが想定されること”を示します。
 <b>注意</b>	“取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定されること”を示します。
 <b>お願い</b>	データの消失や、故障、性能低下を起こさないために守ってほしい内容、仕様や機能に関して知っておいてほしい内容を示します。
 <b>メモ</b>	知っていると便利な内容を示します。
 <b>参照</b>	参照先を示します。 本書内への参照の場合 … 「 」 ほかのマニュアルへの参照の場合 … 『 』

\*1 重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温・化学）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

\*2 軽傷とは、治療に入院・長期の通院を要さないけが、やけど、感電などをさします。

\*3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

## 用語について

本書では、次のように定義します。

**システム** 特に説明がない場合は、使用しているオペレーティングシステム (OS) を示します。

**アプリケーションまたはアプリケーションソフト**

アプリケーションソフトウェアを示します。

## 記載について

- 本書に記載している画面やイラストは一部省略したり、実際の表示とは異なる場合があります。
- 本書は、語尾をのばすカタカナ語の表記において、語尾に長音 (ー) を適用しています。画面の表示と異なる場合がありますが、読み替えて使用してください。

## Trademarks

- USB Type-C™はUSB Implementers Forumの商標です。

本書に掲載の商品およびサービスの名称は、それぞれ各社が商標または登録商標として使用している場合があります。

## 撮影・録音及び著作権について

- 撮影・録音が禁止または制限されている場所では、その指示に従って撮影・録音を行うようにしてください。
- あなたが撮影・録音したものは、個人的にまたは家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断では利用できません。

## ディスプレイについて




本製品のディスプレイでは、画面すべてを正しく表示できない場合があります。

# 安心してお使いいただくために

ここでは、ご使用の際の重要な情報や、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項が示されています。

本製品を安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています。

## 図記号の例

図記号	図記号の意味
 禁止	⊘ は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 指示	● は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 注意	△ は、注意を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

## 免責事項について

- 地震、雷などの自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社はいっさい責任を負いません。
- 本製品および本製品に付属のソフトウェアの使用または使用不能から生じた損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求などについて、当社はいっさい責任を負いません。
- 本製品の各種説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社はいっさい責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作やハングアップなどから生じた損害に関して、当社はいっさい責任を負いません。

- 本製品の保証条件は、付属している当社所定の保証書の規定をご覧ください。
- 本製品および本製品に付属のソフトウェアの仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

# — 安全上のご注意 —

## ●本体と周辺機器の取り扱いについて



お客様で自身で、分解・改造・修理しない

火災・感電・故障・けがのおそれがあります。点検・修理は、dynabook あんしんサポートまたは保守サービスに依頼してください。



雷が鳴り出したら本体やケーブル類には触れない

落雷による感電のおそれがあります。

雷の発生が予想されるときには本体からケーブル類をはずしてください。



ビニール袋などの包装材料は乳幼児の手の届かないところに保管する

口に入れたり、頭からかぶるなどして窒息のおそれがあります。



取りはずした小さな部品は、乳幼児の手の届かないところに保管する

誤って飲み込むと窒息のおそれがあります。万が一飲み込んだ場合はただちに取り出す必要がありますので、すぐに医師に連絡し指示を受けてください。



使用しないときは、乳幼児の手の届かないところに保管する

誤った取り扱いにより、事故やけが、機器の故障の原因となるおそれがあります。



可燃性ガスエアゾールやスプレーを本体に使用しない

清掃や可動部の潤滑用など、可燃性のエアゾールやスプレーを本体に使用すると、噴射される可燃性ガスが本体の内部にとどまり、モーターやスイッチの接点や静電気の火花が引火し、爆発・火災・やけど・故障のおそれがあります。



運転中や操縦中は使用しない

交通事故などの原因になるおそれがあります。

自動車、自動二輪車、自転車の運転や、飛行機の操縦など危険な作業を行うときは、本製品を使用したり、画面表示を見たりしないでください。事故やけがの原因となるおそれがあります。



**足元の不安定な場所では本製品を使用しない**

事故やけがの原因となるおそれがあります。また、歩きながら使用しないでください。



禁止

**本製品を通して太陽や強い光を見ない**

視力障害や失明の原因となるおそれがあります。



禁止

**カメラのレンズに直射日光などを長時間当てない**

レンズの集光作用により、発火、破裂、火災などの原因となるおそれがあります。



禁止

**ディスプレイに強い衝撃を与えたり、硬いものと接触させたりしない**

ディスプレイが傷ついたり破損したりして、ディスプレイの破片で目や顔などに重傷を負うおそれがあります。



禁止

**本製品を火中に投下しない、火気に近づけない、電子レンジで加熱しない、熱器具に近づけない、高温状態で放置しない**

発火、火災の原因となるおそれがあります。



禁止

**砂や土、泥などの上に置いたり、砂や土、泥などをかけたりしない。また、砂などが付着した手で触れない**

火災・やけど・けが・感電・故障などの原因となります。



禁止

**本製品は乾いた状態で使用、保管する**

湿気や液体に含まれるミネラルで内部の電子回路が腐食されることがあります。また、水分が付着したときに、オープンや電子レンジ、ドライヤーを使用して乾かさずにください。故障や発火のおそれがあります。



指示

**7歳未満の子供には使用させない**

7歳未満の子供は、ものに焦点を合わせ、追跡する能力がまだ発達段階にあるため、本製品を使用させないでください。



禁止

**光過敏症の既往症のあるかた、体調不良のかたは本製品を使用しない**

症状悪化の原因となるおそれがあります。



禁止

**目に疾患や障害のあるかたは、本製品を使用しない**

斜視、弱視、不同視などの症状が悪化するおそれがあります。



禁止

てんかんの症状をお持ちのかたは、あらかじめ医師に相談する

また、本製品の使用中に以下の症状が現れた場合も、医師に相談してください。:

視力の変化、筋肉のけいれん、その他の不随意運動、周囲環境認知能力の喪失、精神錯乱、ひきつけ



指示

## ⚠ 注意

本体の上または近くに「花びん・コップ」などの液体の入った容器や、「ステーブル・クリップ」などの金属物を置かない

異物（金属片・液体など）が本体の内部に入ると火災・感電のおそれがあります。異物が内部に入った場合は、すぐにUSBケーブルを抜いてください。点検・修理を、dynabook あんしんサポートまたは保守サービスに依頼してください。



禁止

ふる場、シャワーなどの水がかかったり、湿度の高い場所あるいは屋外などの雨や霧が入り込む場所では使用しない

火災・感電のおそれがあります。



禁止

水などの液体で洗浄したり、水中で使用しない

本体を水で濡らさないでください。故障の原因となるおそれがあります。



禁止

ぐらついた台の上、かたむいたところなど不安定な場所に置かない  
落ちたり、たおれたりしてけがをするおそれがあります。



禁止

本製品の部品が落下または破損した場合や、性能に著しい変化が現れた場合は使用しない

そのような場合はUSBケーブルを抜いてください。点検・修理を、dynabook あんしんサポートまたは保守サービスに依頼してください。



禁止

ディスプレイにヒビ、傷などがあつた場合は、ディスプレイに触れない

そのまま使用するとけがをするおそれがあります。



禁止



ディスプレイが破損し、液晶（液体）が漏れたときは、液晶（液体）を吸い込んだり、飲んだりしない。また、液晶（液体）に触れない中毒を起こす・皮膚がかぶれるおそれがあります。万が一目や口に入った場合は、すぐに流水で洗浄し、ただちに医師にご相談ください。皮膚や衣服についてしまった場合は、すぐに流水で洗浄してください。



禁止

スピーカーを使用するときは、音量を上げすぎない

スピーカーの出力音量が大きすぎると、聴力が一時的または恒久的に失われ、または聴覚に障害が残る場合があります。また耳を刺激するような大きな音量を長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えるおそれがあります。



禁止

ケーブルをお客様ご自身やほかの人の体に巻き付けない

本製品はケーブルを接続した状態で使用しますが、使用中に誤ってケーブルがお客様ご自身や他の人の体に巻き付いたりしないよう、注意してください。



禁止

## ●フレームの取り扱いについて

### 注意

フレームのサイズを確認する

フレームのサイズが合わない状態で使用するとフレームの破損やけがの原因となるおそれがあります。



指示

フレームを装着するときは、フレームの端やパッド（鼻あて）で目をつかないようにする

誤って目をつくると失明などの障害のおそれがあります。



指示

フレームが変形したり、掛け具合に違和感を感じたときは使用しない

そのまま使用すると、故障・けがのおそれがあります。点検・修理をdynambook あんしんサポートまたは保守サービスに依頼してください。



禁止

鼻部へのパッドを強く押し付けない

パッドのあたりが強いと炎症をおこすおそれがあります。



禁止

# — ご使用上のお願い —

## ●本体と周辺機器の取り扱いについて

---

---

本体と周辺機器を取り扱うときは次のことを守る

- ・直射日光が当たる場所、しめ切った車の中、暖房機器の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。
- ・通電中の本体に布などをかけたり、くるんだりしないでください。
- ・極端に低温になるところに置かないでください。
- ・スピーカー、テレビなど磁気を発するものの近くで使用しないでください。
- ・表面を硬いものでこすらないでください。
- ・製品の上にものを乗せたり、ものを落としたりしないでください。
- ・ほこりの多いところに置かないでください。
- ・急激な温度変化を与えないでください。
- ・機器に強い衝撃や外圧を与えないでください。
- ・スイッチ／ボタン／タッチパッドを強く押さえたり、ボールペンなどの先の鋭いもので操作したりしないでください。

これらを守らないと、故障・破損・誤動作・機能低下などのおそれがあります。本体や周辺機器に異常が見られたときは使用を中止し、dynabook あんしんサポートまたは保守サービスに相談してください。

---

当社純正品以外の周辺機器やアプリケーションソフトを使用する場合は、本製品で使用可能かどうかを、取り扱い元に確認してください。

当社純正品以外の周辺機器やアプリケーションソフトが原因で発生した損害（お客様へのけが、財産への損害など）については、当社では責任を負いません。あらかじめご承知ください。

---

お手入れするときは、ベンジン、シンナーなどを使用しないでください。

変質・変形・変色のおそれがあります。

---

## **連続運転について**

本製品は24時間を超えるような長時間の連続使用を前提とした設計にはなっておりません。

長時間連続使用等、ご使用状態によっては早期にあるいは製品の保証期間内でも部品交換（有料）が必要となります。

## **結露について**

結露（空気中の水分が水滴になる現象）しないよう急激な温度変化を与えないでください。

寒いところから暖かいところに本製品を移動したときなどは、本製品の表面や内部に結露が発生しやすくなります。

結露が発生したまま本製品を使用すると故障の原因となりますので、結露がなくなるまで電源を入れないでください。

# － 使用環境について －

本製品を正しい使用環境でお使いいただければ、本製品の寿命を少しでも長くすることができます。

安全と健康を守り、本製品をより快適にお使いいただく環境について説明します。

## 本製品の使用環境について

- 温度は5～35℃、湿度は20～80%の環境にする
- 急速に温度や湿度が変化するような環境は避ける
- 暖房器具などの熱いものの近くには置かない
- 使用中のホットカーペットの上に置かない
- 腐食性の薬品のそばに置かない
- 視界が明るすぎて画面が見づらくなるような非常に光量の多い環境は避ける

## 健康のために気をつけたいこと

- 1時間を超えて連続した作業をしないようにする  
1時間に10～15分程度の休憩時間をとってください。
- 作業時間内にも1～2分の小休止を1～2回とる
- 長時間使用して、身体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに使用をやめて休息する

長時間使い続けると、目や頭が痛くなったり、知覚的後作用、方向感覚の異常、姿勢安定性の低下、乗り物酔いに似た症状がでることがあります。万が一、休息しても不快感や痛みが取れない場合は、医師の診察を受けてください。

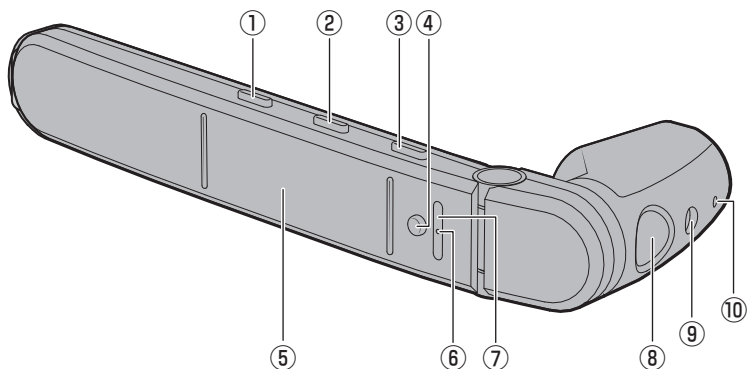
# — ご使用時の注意 —

- 本製品や付属品をほかの機器に接続する場合は、取扱説明書の内容に従ってください。また、指定されている機器以外には接続しないでください。
- 振動を与え続けしないでください。
- 薄暗い場所では映像が明るく見えるため、周囲の環境が見えにくくなります。周囲の安全に十分注意してください。
- 狭い場所で本製品を使用する場合は、ほかの人や障害物に十分注意してください。
- 本製品を装着したりはずしたりするときに、本製品の端で目を傷つけないように注意してください。
- 本製品を装着したときに肌に触れる部分（顔など）に、かゆみ、かぶれ、湿疹などの異常が生じた場合は、直ちに使用をやめ、皮膚科の医師の診察を受けてください。
- 本製品の使用中に汗をかいた場合は、顔や本体に付着した汗をふいてください。そのまま使用を続けると、かゆみ、かぶれなどの原因となるおそれがあります。
- 使用する場所の条例や規則がある場合はそれに従ってください。使用が禁止あるいは制限されているところでは使用しないでください。

# 1 各部の名前

本製品の各機能をお使いになるためには、別途アプリケーションが必要になる場合があります。

## 1 前面図／側面図



- ① ボタンA
- ② ボタンB
- ③ ボタンC
- ④ ボタンD
- ⑤ タッチパッド
- ⑥ マイク

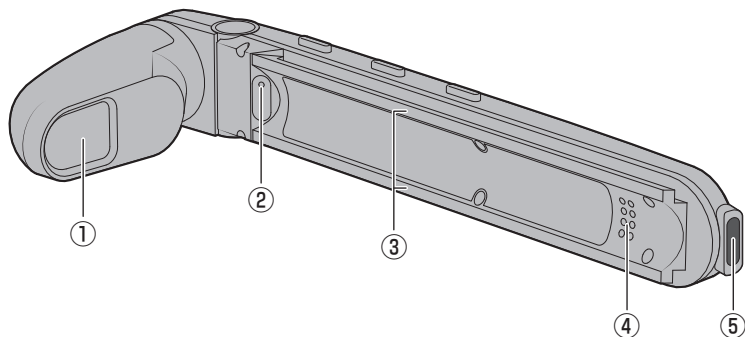
- ⑦ 照度センサー
- ⑧ カメラ
- ⑨ ライト
- ⑩ カメラLED

写真や動画の撮影時に点灯します。  
ただし、「⑨ライト」の点灯中は、点灯  
しません。

ボタンA～Dやタッチパッドの操作方法は、使用するアプリケーションによって異なります。

➡ 参照 『アプリケーションに付属の説明書』

## 2 裏面図



① ディスプレイ

② マイク

③ マウンティングレール

④ スピーカー

⑤ USB Type-C™ コネクタ

dynaEdge との接続時に使用します。

## 2 フレームに取り付ける

AR100本体をフレームに取り付ける方法を説明します。

### お願い 接続する前に

- AR100本体にケーブル類を接続している場合は、取りはずしてください。  
AR100本体にケーブル類を接続したまま、フレームに取り付けると、フレームに無理な力が加わり、破損するおそれがあります。

### 1 本体をフレームに取り付ける

AR100本体は、フレームの左右どちら側にも取り付けることができますが、利き目側に取り付けることをおすすめします。

また、このフレームは多くの一般的なメガネの上からかけることができます。

#### 1 利き目を調べる

AR100を最適に利用するために、次の方法で利き目を調べてください。

- ① 両手で小さな三角形を作ります。
- ② 両目を開けたまま、三角形の内側の中央部に何か対象物が見えるようにしてください。
- ③ 片目ずつ閉じます。
- ④ 片目を閉じたときに、中央部にある対象物が視界から動くことに気が付くはずで  
す。対象物が動かないときに開けている目が利き目になります。



## 2 取り付ける

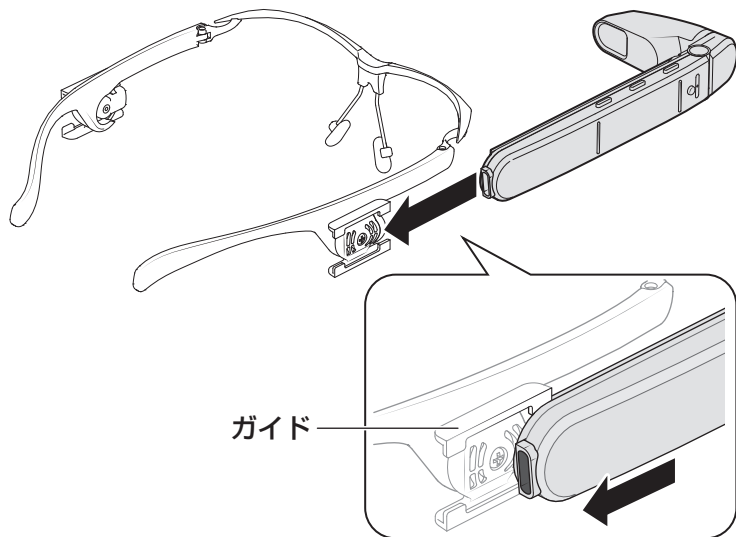
AR100本体をフレームに取り付けるには、次の手順で行います。

ここでは、利き目が右目で、フレームの右側に取り付ける場合を例に説明します。

利き目が左目の場合は、左側に同じ手順で取り付けてください。

### 1 AR100本体のマウンティングレールを、フレームのガイドに合わせ、ゆっくりと矢印の方向に押し込む

上下のマウンティングレールがガイドに挟まれるようにセットされていることを確認してください。正しく取り付けられていると、AR100本体を前後にスライドすることができるようになります。



取りはずすときは、逆の手順で行います。

# 3 dynaEdgeを接続する

AR100本体とdynaEdgeとの接続方法について説明します。  
接続する前に、dynaEdgeのセットアップを終了しておいてください。

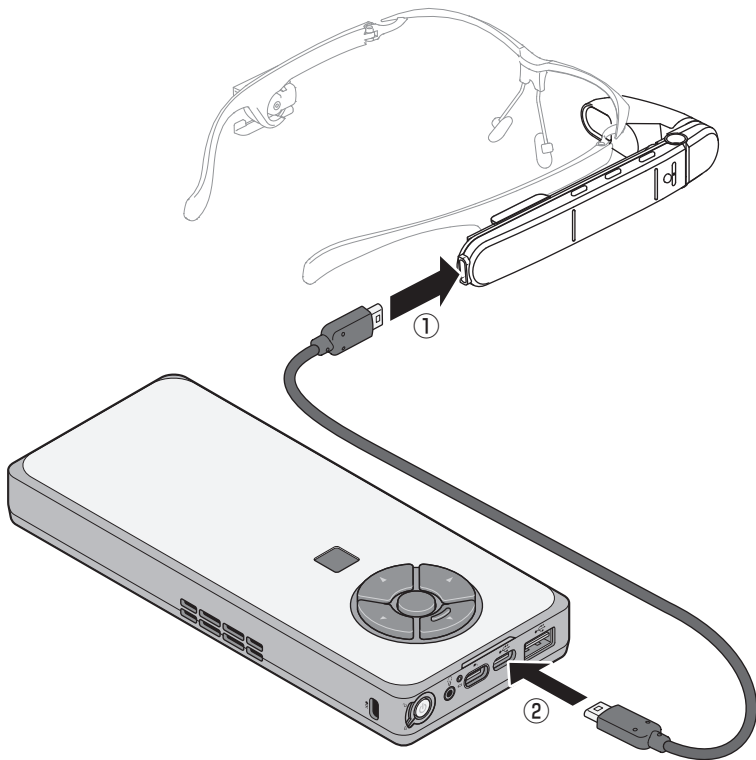
AR100本体とdynaEdgeとの接続は、AR100本体をフレームに取り付けたあとに行ってください。

## 1 本体とdynaEdgeを接続する

AR100本体とdynaEdgeの接続は、次の手順で行います。  
取りはずすときは、逆の手順で行います。

- 1 dynaEdgeの電源を切る
- 2 USB Type-C™ アダプターが接続されている場合は、USB Type-C™ アダプターを取りはずす

- 3 AR100本体のUSB Type-C™コネクタに、USBケーブルのプラグを差し込み①、USBケーブルのもう一方のプラグを、dynaEdgeのUSB Type-C™コネクタに差し込む②



\*イラストは、dynaEdge DE200の例です。

- 4 dynaEdgeの電源を入れる  
AR100本体の電源が入ります。

# 4 位置と角度を調整する

AR100本体をフレームに取り付けたあと、位置と角度を調整できます。

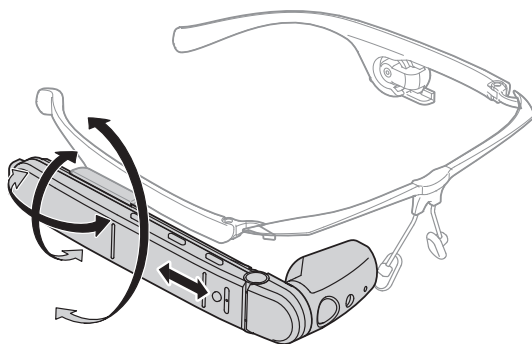
## お願い 角度を調整するにあたって

- 調整できる角度には制限があります。無理な力を加えないよう注意してください。

### 1 本体の位置と角度を調整する

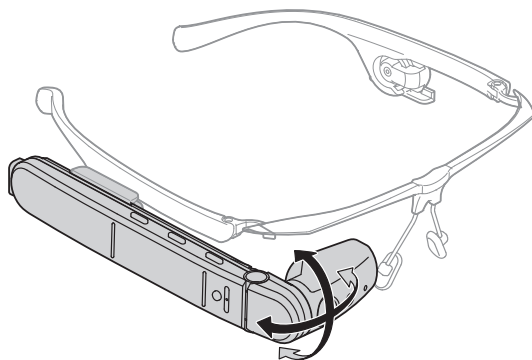
AR100本体を矢印の方向に動かして、調整できます。

ディスプレイが見やすいように位置と角度を調整してください。



### 2 カメラとディスプレイ部分の角度を調整する

カメラとディスプレイ部分を矢印の方向に動かして、角度を調整できます。



## メモ

- 使い始めは、近距離にある本体ディスプレイに焦点を合わせることが難しいことがあります。両目を開けて、約20分ほど利用していると、多くの場合、次第に慣れてきます。

# 5 Q&A集

よくある質問と解決方法を示します。dynaEdgeの動作については『dynaEdgeに付属の説明書』もあわせてお読みください。

下記の対処を行っても問題が解決しない場合は、dynabook あんしんサポートに連絡してください。

## Q カメラが正常に動作しない

A カメラのアプリケーションを一度終了させ、再度起動し直してください。

## Q ディ스플레이が正常に動作しない（何も表示されない） ディスプレイの表示がすぐに消えてしまう タッチパッドが正常に動作しない AR100が正常に動作しない

A dynaEdgeの電源が入っているか確認してください。

A AR100本体とdynaEdgeが正しく接続されているか確認してください。

A dynaEdgeのバッテリーの充電量が少ない可能性があります。

次のいずれかの対処を行ってください。

- dynaEdge用の電源コードとACアダプターを接続し、充電する（他製品用の電源コードとACアダプターは使用できません）
- 充電済みのバッテリーパックと取り換える

参照▶『dynaEdgeに付属の説明書』

A dynaEdge内部の温度が一定以上に達すると保護機能が働き、システムが自動的に停止します。

dynaEdgeがスリープになる、または電源が切れるときには、涼しい場所へ移動するなどして、dynaEdgeの内部温度が下がるのを待ってください。

また、通風孔をふさぐと、dynaEdgeの温度は非常に上昇しやすくなります。通風孔をふさがないでください。

A dynaEdgeのダウンボタンとライトボタンを同時に約5秒押してください。AR100が再起動します。

A 一度AR100本体をdynaEdgeから取りはずして、もう一度接続し直してください。

# 6 デイリーケア

## 1 日常の取り扱いとお手入れ

本書の「安全上のご注意」、「ご使用上のお願い」に、日常の取り扱いとお手入れをするときに守ってほしいことが記述されています。あらかじめその記述をよく読んで、指示を守ってください。

日常の取り扱いでは、次のことも守ってください。

### 本体および付属品について

- 機器の汚れは、薄めのせっけん水を湿らせた柔らかい布などでふき取ってください。ディスプレイやカメラのレンズは、カメラレンズ用のブロアーやブラシ、レンズクリーナーを湿らせたレンズクリーニングクロスで掃除してください。刺激の強い化学薬品や、洗浄溶剤、強い合成洗剤などは使用しないでください。
- ほこりや泥、砂などがつかないようにしてください。
- 落としたり、衝撃を与えないでください。
- 本製品を塗装しないでください。可動部が動かなくなったり、正常な動作を妨げることがあります。
- 使用中に本体が熱くなることがあります。本体の動作状況により発熱しているだけで、故障ではありません。
- ケーブル類は折り曲げたり、巻き付けたりしないでください。故障の原因となることがあります。
- 本製品に、ケーブルを接続した場合に、ケーブルから本体をぶら下げた状態にしないでください。また、本体からケーブルを取りはずす際は、ケーブルのプラグを抜いてください。

# 7 製品仕様

## 1 仕様について

外形寸法 (突起部除く)	約61(幅) × 149(奥行) × 21(高さ) mm
質量	約48g



# 8 センサーについて

AR100には、GPS\*<sup>1</sup>、ジャイロセンサー、コンパスセンサー\*<sup>2</sup>、加速度センサーが搭載されています。これらを利用するためには、各機能に対応したアプリケーションが必要です。

- \* 1 GPS機能を有効にするためには、ドライバーをdynaEdgeに別途インストールする必要があります。
- \* 2 コンパスセンサー機能はソフトウェア開発キット（SDK）経由での提供となります。ドライバーおよびSDKの入手については下記の開発者向け情報ページをご覧ください。  
<開発者向け情報ページ>  
<https://dynabook.com/business/meccd/developer/index.html>

## GPSについて

GPS衛星からの電波を受信しにくい以下のような場所や状態では、現在地がずれたり、検出できない可能性があります。

- 建物の中や直下
- かばんや箱の中
- 密集した樹木の中
- アンテナ前面部に障害物（人や物）がある場合
- 地下やトンネル、地中、水中
- ビル街や住宅密集地
- 高圧線の近く
- 大雨、雪などの悪天
- dynaEdge本体と近づけすぎた場合
- USBケーブルを巻きつけた状態

## コンパスセンサーについて

- 電車や自動車の車内、ビルの内部や周辺など使用環境によっては、方位を正確に検出できない場合があります。コンパスセンサーをご使用の場合は、これらの場所を避けてください。
- dynaEdge本体と近づけすぎた場合やUSBケーブルを巻きつけた状態では、方位を正確に検出できない場合があります。

# 9 技術基準適合について

## 電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。  
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

FCC Information ( **FCC** ) と EU Declaration of conformity ( **CE** ) のマークが本体に表示されている場合は、各規格に対応しています。

## 「FCC information」について

### This device complies with FCC RF exposure requirements

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

**WARNING** : *Only peripherals complying with the FCC class B limits can be attached to this equipment. Operation with non-compliant peripherals or peripherals not recommended by Dynabook is likely to result in interference to radio and TV reception. Shielded cables must be used between the external devices and the computer's USB Type-C™ port. Changes or modifications made to this equipment, not expressly approved by Dynabook or parties authorized by Dynabook could void the user's authority to operate the equipment.*

### **FCC conditions**

This device complies with part 15 of the FCC Rules.

Operation is subject to the following two conditions:

1. This device may not cause harmful interference.
2. This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

### **Contact**

**Address** : Dynabook Americas, Inc.  
5241 California Avenue, Suite 100  
Irvine, California, USA, 92617

**Telephone** : (949) 583-3000

This information is only applicable for the countries/regions where it is required.

### **Caution: Exposure to Radio Frequency Radiation**

The radiated output power of the Wireless device is far below the FCC radio frequency exposure limits. Nevertheless, the Wireless device shall be used in such a manner that the potential for human contact during normal operation is minimized.

In the usual operating configuration, the distance between the antenna and the user should not be less than 20cm. Please refer to the computer user's manual for the details regarding antenna location.

The installer of this radio equipment must ensure that the antenna is located or pointed such that it does not emit RF field in excess of Health Canada limits for the general population; consult Safety Code 6, obtainable from Health Canada's website

[www.hc-sc.gc.ca](http://www.hc-sc.gc.ca)

---

## EU Declaration of Conformityについて

---



This product is carrying the CE-Mark in accordance with the related European Directives.

Responsible for CE-Marking is Dynabook Europe GmbH, Stresemannallee 4b, 41460 Neuss, Germany. The complete and official EU Declaration of Conformity can be found on the web site

<http://emea.dynabook.com/generic/product-conformity> on the Internet.

### **CE compliance**

Hereby, Dynabook Europe GmbH declares that the model(s) described in this manual is/are in compliance with Directive 2014/53/EU.

The full text of the EU declaration of conformity is available at the following internet address:

<http://emea.dynabook.com/generic/product-conformity>

This product is labeled with the CE Mark in accordance with the essential requirements and other relevant provisions of the applicable European Directives, notably Radio Equipment Directive (2014/53/EU), RoHS Directive 2011/65/EU, Ecodesign Directive 2009/125/EC (ErP) and the related implementing measures.

This product and the original options are designed to observe the applicable EMC (Electromagnetic Compatibility) standards. However, Dynabook cannot guarantee that this product still observes these EMC standards if options or cables not produced by Dynabook are connected or implemented. In this case the persons who have connected/implemented those options/cables have to provide assurance that the system (PC plus options/cables) still fulfils the required standards. To avoid in general EMC problems, the following guidance should be noted:

- Only CE marked options should be connected/implemented
- Only best shielded cables should be connected

## Working environment

This product was designed to fulfil the EMC (Electromagnetic Compatibility) requirements to be observed for so-called “Residential, commercial and light industry environments” .

Dynabook do not recommend the use of this product in working environments other than the above listed working environment.

For example, the following environments are not verified:

- Industrial Environments (e.g. environments where a mains voltage of 380 V three-phase is used)
- Medical Environments (according to Medical Device Directive)
- Automotive Environments
- Aircraft Environments

Any consequences resulting from the use of this product in working environments that are not verified/recommended are not the responsibility of Dynabook.

The consequences of the use of this product in non-verified working environments may be:

- Interference with other devices or machines in the near surrounding area.
- Malfunction of, or data loss from, this product caused by disturbances generated by other devices or machines in the near surrounding area.

Therefore Dynabook strongly recommend that the electromagnetic compatibility of this product should be suitably tested in all non-verified working environments before use. In the case of vehicles or aircraft, the manufacturer or airline operator respectively should be asked for permission before use of this product. Furthermore, for general safety reasons, the use of this product in environments with explosive atmospheres is not permitted.



## dynabook あんしんサポート 使いかた相談窓口

[固定電話から] **0120-97-1048** (通話料無料)

[携帯電話から] **0570-66-6773** (通話料お客様負担)

[上記電話番号がご利用になれない場合] **043-298-8780** (通話料お客様負担)

※電話番号はお間違えのないよう、ご確認のうえおかけください。

※「発信者番号通知」の状態、もしくは電話番号の前に「186」をつけてお電話ください。

[受付時間] 9:00-19:00 (年中無休)

お客様の個人情報の取り扱い全般に関する当社の考えかたをご覧になりたいかたは、  
当社の個人情報保護方針のページ (<https://dynabook.com/corporate/privacy.html>) を  
ご覧ください。

- ・本書の内容は、改善のため予告なしに変更することがあります。
  - ・本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは禁止されています。
  - ・落丁、乱丁本は、お取り換えいたします。
- dynabook あんしんサポートにお問い合わせください。

### インテリジェントビューア AR100 取扱説明書

2021年8月

GM9042284220

## 発行 Dynabook 株式会社

〒135-8505 東京都江東区豊洲5-6-15 (NBF豊洲ガーデンフロント)



本書は植物性大豆油インキを使用しております。  
本書は再生紙を使用しております。

GM9042284220  
Printed in China